

久米島町



議会だより



ジャコウアゲハ（自然を大切に）



補正予算可決	2
12月補正後の各会計予算総額	2
同意・条例改正・協議	2
指定・発議	
一般質問	3
意見書	12

補正予算可決

12月定例会は12月16日～20日までの5日間の日程で行われました。
議案15件 報告1件 発議3件 同意1件を審議しました。

平成17年度一般会計補正予算（第7号）

歳出

歳出の内訳	補正額
議会費	435千円
総務費	4,329千円
民生費	42,675千円
衛生費	12,795千円
農林水産費	865千円
商工費	7,293千円
土木費	2,577千円
消防費	△1,202千円
教育費	10,043千円
予備費	△11,327千円
歳出合計	68,483千円

歳入

歳入の内訳	補正額
地方交付税	47,429千円
分担金及び負担金	15,598千円
使用料及び手数料	202千円
国庫支出金	△6,273千円
国有提供施設等所在市町村助成交付金	6,237千円
県支出金	1,077千円
諸収入	4,213千円
歳入合計	68,483千円

12月補正後の各会計の予算総額

会計別	今回補正額	補正後の額
一般会計	68,483千円	7,298,196千円
国民健康保険特別会計	66,492千円	1,046,639千円
下水道事業特別会計	5,586千円	315,430千円
老人保健特別会計	23,955千円	1,163,144千円
水道事業会計	2,750千円	334,552千円

同意

教育委員会の委員の任命
仲村昌保氏

教育委員に宇仲地の仲村昌保氏を任命することに同意しました。

教育委員の山里智光氏の退職に伴い、後任を任命するため提案されたものです。

条例改正

久米島町火災予防条例の一部を改正する条例

久米島町フィッシュアリーナ条例の一部を改正する条例

久米島町付属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例

久米島ホテルドーム条例等の一部を改正する条例

久米島町防災行政無線放送施設条例の一部を改正する条例

五件が可決されました。

協議

仲里漁港利用調整区域における漁港施設の事務の委託に関する協議

一件が可決されました。

指定

久米島町イーフ情報連絡施設の指定管理者の指定

久米島紬ユイマール館及び久米島伝統工芸センターの指定管理者の指定

久米島町高齢者コミュニティセンター等の指定管理者の指定

三件が可決されました。

発議

患者・国民負担増の中止と「保険で安心してかかれる医療」を求める意見書

「2年課程通信制」養成所の早期開設を求める意見書

在日米軍再編計画に伴う辺野古沿岸移設案に反対する意見書

一般質問

聞きたいあれこれ!
言いたいあれこれ!

本定例会での一般質問は、12月16日に12名が登壇しました。

中学校統廃合の行方は?

一九年度実施は困難



上里 総功 議員

上里議員 久米島中学校は平成一九年四月から統廃合に向けて準備が進められ、地域説明会が行われた。

次の二点について伺いたい。

①今後の少子高齢化に伴う児童生徒数の減少又は学力向上のためなのか。

②町の財政難のためなのか。

喜久里教育長 ①本町においては少子化が進み、児童生徒数が減少傾向にある。統廃合することにより、効率的に施設整備や人的配置を行い、教育環境の改善を図りたい。



久米島中学校

高里町長 ②統合した場合、将来的に学校建設に係る公債費の負担が大幅に軽減される。

要性はないと思う。本町に平成一九年四月から統廃合は実施するのか。

上里議員 久米島中学校は、念願であった運動場も整備され、他地域の中学校と同等に勉強やスポーツができる環境になり、統廃合の必

一般質問通告一覧表

上里 総功 議員

一、久米島中学校統廃合について

二、地方債残高について

崎村 稔 議員

一、電線の地中化について

二、進入路について

國吉 弘志 議員

一、硫黄島島の調査について

宮田 勇 議員

一、町民会館の建設について

二、国旗掲揚について

仲村 昌 議員

一、中学校の統廃合について

本永 朝辰 議員

一、空港北川（具志川城趾線）の越波対策について

地方債残高一三二億円の償還計画は？

年間償還金一二億円以上。今後の起債発行を抑える

上里議員 久米島町の借入である地方債残高は、特別会計と一般会計の合計金額が平成一六年度末で約一三二億円となっている。将来の償還計画の見通しを伺いたい。

だけの起債を起こして箱物施設を作ったのだが、施設からの使用料収入の見込額はどれくらいか。

また、償還と箱物施設の維持管理費に経費がかかり、住民の負担が多くなる。この責任はどのようにとるのか伺いたい。

高里町長 償還については毎年一二億円以上の償還額で、平成二一年度には一四億七千万円のピークに達する。財政状況としてはたいへん厳しい状況になることが予想され、今後は起債発行を抑えたいと考えている。

山城企画財政課長 財政的な使用料手数料については数字として分かるが、施設の使用料手数料についての分析は手元に資料がないので、今は答えられない。

上里議員 地方債残高一三二億円ということは、町民一人当たりになおすと一三二万円の借金になる。これ

電線を地中化し、車道拡張しては？

道路整備も含めての計画を思案



崎村 稔 議員



崎村議員 仲泊商店街は駐車車両が多く、住民からの苦情が絶えない。県道拡張について、旧具志川村時代から幾度となく要請をしてきたが、費用対効果が少ないという理由で県当局から却下された経緯がある。別案として、電線を地中化し、車道を広げる考えはないか。

高里町長 県において新電線類地中化計画が策定され、一部は完了し、現在も整備が行われている。選定は平成一五年度において既に決定されており、本路線については、道路整備も含めて計画した方がよいと考えている。

また、新興通りには植樹帯があり、それが人や車の通行の妨げになっている。撤去する考えはないか伺いたい。

植樹帯の撤去については、県の財産であり、町の方では撤去できない。植樹帯を撤去した方がいいのか、地元の見聞も聞きながら整備に向けて県へ要請していきたい。

平良朝幸議員

一、行政改革について

二、防災・緊急連絡システムについて

山城宗太郎議員

一、養蚕場建設について

平田勉議員

一、介護保険について

二、教育施設について

上江洲盛元議員

一、教職員の人事異動について

二、観光振興について

三、借り家さがしの方々の対応について

四、県道八九号線ンマウイーの電線の地中化について

幸地良雄議員

一、町道儀間一号線の整備計画について

二、特産品の開発について

仲原健議員

一、歩道の整備について

二、特産品の開発について

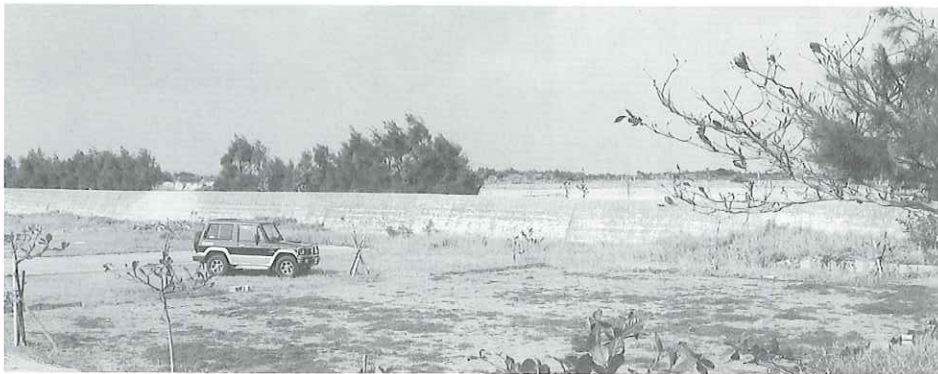
埋立地への進入路整備を早めに！

財産処分決定後に工事着手

崎村議員 儀間・嘉手苅地先埋立地への儀間側からの進入路がなく、利用者はたいへん不便を来している。予算の都合上、埋立地全体の整備はできないと思うが、この進入路だけでも先に造ってはどうか、町長の所見を伺いたい。

高里町長 儀間区民から要望があった、儀間漁港から嘉手苅地先埋立地への進入道路については、県に財産処分の手続きを申請しており、現在、水産庁と県が調整をしている。財産処分の決定後に目的外使用の申請をし、許可後に工事に着手する予定で進めている。

神里建設課長 第二防波堤は漁港事業で整備されており、国庫補助金が出ている。よって、補助金の適正化に関する法律の条件をクリアするために財産処分の手続きをし、その後に目的外使用の申請となる。



早めの撤去が望まれる護岸

硫黄鳥島の調査計画は？

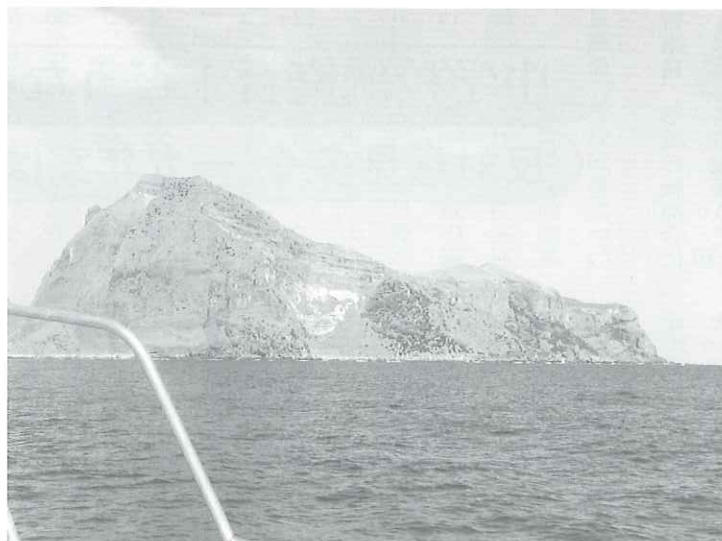
一八年度調査実施を検討



國吉弘志 議員

國吉議員 沖縄唯一の火山島である硫黄鳥島は、現在は無人島だが、旧具志川村時代には定期的に調査団を派遣していた。合併後、久米島町としては、これまで一度も調査が行われていないが、調査の考えはないか、町長の見解を伺いたい。

高里町長 平成一四年度と一五年度に調査を計画したが、台風等天候の都合により実施できなかった。今後定期的な調査が必要と思われるので、平成一八年度での調査実施を進めたいと思っている。



硫黄鳥島

國吉議員 平成九年五月に池原貞夫琉球大学名誉教授を団長として、各分野の専門家による学術的な調査が行われた。島固有の動植物を守る立場からも、定期的な調査を実施してもらいたい。

町民会館の建設を！

早急な建設は無理



宮田 勇 議員

宮田議員 本町には合併以前から両村それぞれに農村環境改善センターがあり、多目的に村民の交流の場として大きな役割を担ってきた。両村で行われていた行事も合併により統一化され、芸術・文化の発展と共に数多くのイベントにセンターが利用されてきた。

建設から二〇数年が過ぎ、老朽化が進んでいる。施設の不備やホールが狭いなど、イベントに支障をきたしていることもしばしばある。芸術・文化の振興発展の面からも、会館の早期建設が求められているが、建設計画はあるのか、当局の見解を伺いたい。

高里町長 町民会館の必要性については十分理解している。本町の財政状況から、早急な建設は無理かと思われる。財政状況を勘案しながら、実施については検討していきたい。

役場庁舎に国旗掲揚を！

主要行事の際には掲揚しよう努める

宮田議員 本県が米軍統治下にあった頃、本土復帰を目指すために国旗掲揚を推進し、国民意識を高めようと県をはじめ各市町村、あらゆる団体を中心となって国旗掲揚を進めてきた。念願の本土復帰は実現したが、いつの間にか日の丸反対に変わってしまった。

も整いつつある。また、国旗に対する理解も近年高まっている。

その主導者は特に教職員並びに労働団体である。その労働団体に屈しられ、各市町村行政においても、現在に至って国旗の掲揚がされてない。

これまで厳しかった学校現場においても、卒業式、入学式においては、島内においては全校が掲揚されている。その観点からして、中心である役場の掲揚ポールや公式行事の場においては、堂々と国旗を掲揚するのが望ましいと思うが、当局の見解を伺いたい。

復帰三二年を迎え、我が県民も日本国民として他府県との格差是正に向けて、国の復帰特例措置を受け、著しい発展をなし、名実共に日本国民として生活基盤

高里町長 庁舎へ毎日掲揚することは無理かと思うが、主要行事においては掲揚しよう努めていきたい。



仲村 昌慧 議員

中学校統廃合！どうなる？

反対意見多く、一九年案は厳しい

てきた。

去った十一月二十五日の「久米島校区からの意見書への回答を中心として」の第四回地域教育懇談会では、統合に対して多くの不安や反対の意見があった。教育長は「平成一九年四月一日を目標に、統合をやるという考えで対応していきたい」と述べている。第四回地域教育懇談会の感想を伺いたい。

喜久里教育長 統廃合に対する反対意見の発言が多くを占めたことは、地域が深く関わってきた伝統ある学校への思い入れの深さであると認識している。

平成一九年か二〇年には比屋定小学校が複式学級になるおそれがあり、それを踏まえた上で一九年の設定であったが、地域のコンセンサスを得ながら進めていかなければならない大きな課題であり、一九年の統廃合は少し厳しい状況である。

空港北川の越波対策を！

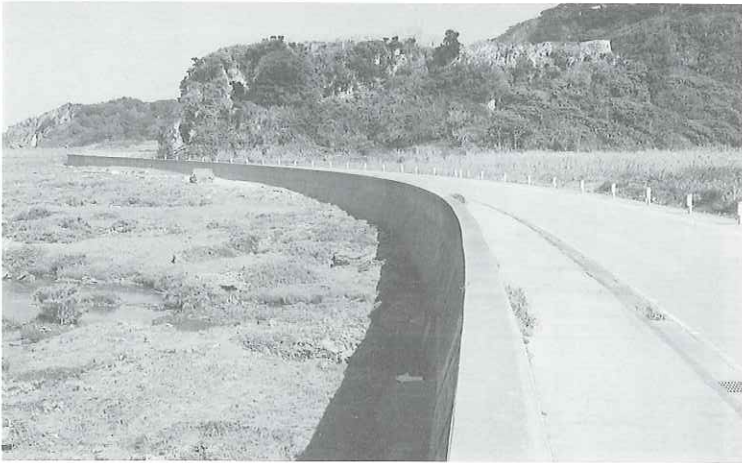
原因究明し、抜本的対策を講ずる



本永朝辰議員

本永議員 台風時に、空港北側、具志川城跡線で波が道路を越え反対側の農地にまで浸入し、農作物に甚大な被害を与えている。その対策を講じてほしいが、町長の見解を伺いたい。

原因究明には時間を要するが、原因を究明し、抜本的対策を講ずる必要があると考えるので、どの事業で実施可能か、関係課で協議していきたいと思っている。



町道具志川城趾線

行政改革の進捗状況は？

定員削減等、計画どおり進んでいる

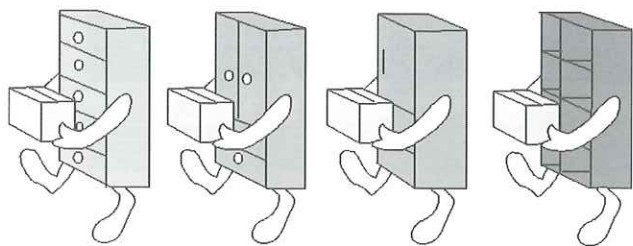


平良朝幸議員

平良議員 行政改革について、ここ三年間の行政改革大綱が作成され、現在実施されているが、職員数の適正化については数値目標が甘く、全く進展がないように思う。この件について具体的に現在の取り組みや実績を聞きたい。

また、行政改革の一環として、町三役のうち収入役の廃止が計画されており、実施は平成一八年度になっているが、この件についてどう考えているのか。

高里町長 平成一七年度から平成一九年度までの三年間に二四人の定員削減を行う計画をしている。平成一七年度は一名の定員削減を行い、計画どおり進んで



いる。平成一八年度以降も勸奨退職の促進を図るなどして、定員の適正化に取り組んでいく。

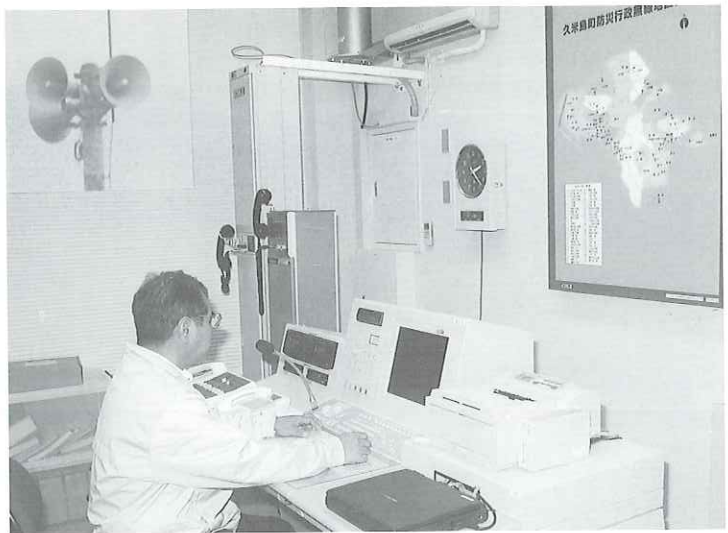
収入役の廃止については、現在の厳しい財政状況を踏まえ、廃止を検討していきたいと思っている。

確実な防災・緊急連絡システムを！

どうする方法があるか、検討

平良議員 町には、防災無線があるが、この防災無線について、いざという時に本当に役に立つのか疑問である。

高里町長 防災行政無線システムは、風向き、または戸を閉めた場合には聞き取りにくいとか、あるいは聞こえないということがあると思う。家の中にいて確実に聞けるシステムとしては、戸別受信機の設置があるが、財政が伴うので、今のところ導入計画はない。今後、解消に向けてどういう方法があるのか検討していきたい。



防災・広報無線システム

養蚕場の建設を！

農林水産課と協議し検討したい



山城 宗太郎 議員

成推進協議会があり、ハード、ソフト事業を推進している。この事業は農林水産関係であるが、横の連携をとって推進していく気持ちがあるか伺いたい。

吉元社会教育課長 県の関係者、農林水産課とも協議をしながら検討したい。

山城議員 久米島紬保持団体は、ユイマール館内の作業場で養蚕を行っているが、年二回の養蚕で約三カ月かかり、養蚕期間中、紬生産者に大変迷惑をかけている。紬の生産に支障をきたさないように、保持団体の活動ができる養蚕場を建設する考えはないか伺いたい。

喜久里教育長 県の教育庁文化課に問い合わせたところ、施設整備の補助はないとのこと。今後検討したい。

山城議員 財団法人日本蚕糸会で先導的養蚕農家育



飼育中の蚕

危険校舎はないか

年度ごとの整備が必要



平田 勉 議員

アスベストについては、検出されなかったとの報告を受けている。

平田議員 危険校舎の実態と今後の対処策について説明を求める。また、教育施設や公共施設への、アスベスト使用はないか。

喜久里教育長 現在、築年数二五年以上の校舎が二五棟あり、県と整備計画の調整を図りながら、年度ごとに事業計画を予定している。合併後は、町の優先事業の実施や財政状況などもあり、計画どおりには実施できなかつた。今後は、年度ごとの施設整備計画が実施できるよう、県及び町財政との調整を図っていきたい。

平良学校教育課長 昭和五

六年以前の校舎は、旧耐震法の設計が施されている。

この建物は、耐力度調査を入れなくても、耐震設計で問題が出てくるのではと危惧される。

今後は、子どもたちの教育に支障をきたす建物については、年次的に改築せざるを得ない状況にあるかと思う。

包括支援センターの設置は？

町直営方式を確認、関係機関と調整中

平田議員 介護保険法の改正で、地域包括支援センター

の設置が義務化された。町の設置計画はどうなっているか。また、新しい介護保

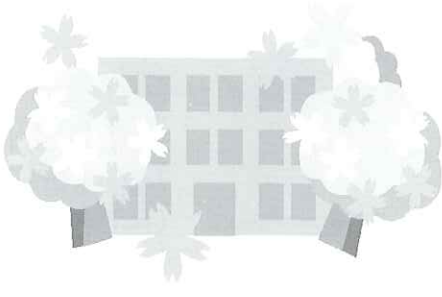
険料の算定根拠となる事業計画の見直しはどうなっているか。

高里町長 地域支援事業は保険者の設置義務により、沖縄県介護保険広域連合が設置することになるが、地域の実情に応じた包括的、継続的な機能を強化するとの視点から、広域連合加入市町村へ委託することになった。これを受け、町高齢者福祉対策委員会で検討し、直営方式で進めることを確認した。

以上のことを踏まえ、各

関係課並びに社会福祉協議会と調整中である。

新保険料の策定根拠になる事業計画の策定については、沖縄県介護保険広域連合の策定委員会において策定中である。最終策定は、国のヒヤリング等の兼ね合いから、一八年二月下旬の見込みである。



借家さがしの方々への対応は？

空家調査継続中！不動産業者とも連携



上江洲 盛元 議員

上江洲議員 町は先日、各区長を通じて空家調査をしているが、その結果を報告していただきたい。また、町は今後どのような方針で借り家を探している方々に対応するのか伺いたい。

高里町長 空家については、区長や地域の方から情報をいただき、資料として持っているが、貸して良いのかどうかの調査はしていない。地域からの情報で一件は紹介して人居している。今後も地域住民からの情報を集めながら調査をしていく。また、最近、不動産業者が開業しているので、不動産業者とも情報を交換しながら連携して対応していきたい。

上江洲議員 私のところにも何名かの方が空家探しで来ている。地元の人たち、島外の旅人である。町はせっかく区長を通じて調査をしているのだから、ちゃんと対策を立てて、この方々のために対応していただきたい。

県道ンマウィーの電線地中化を！

本路線の採択は厳しい

上江洲議員 県道三九号線ンマウィーの電線地中化について、二〇〇四年六月議会での質問に対し、「県と調整する」との答弁だった。二〇〇四年九月議会では、「県との調整の結果、県は地中化の計画はない。費用がかかるので云々」であった。そこで再三質問をした。現在、このンマウィーは道路拡幅工事中である。このままでは緑もない電柱通りになりはしないか気がかりである。県との交渉をねばり強く何回も行ってはいかがか。そして、デイゴ等を植え、緑豊かな県道ンマウィーにしてはどうか。



工事中の県道ンマウィー

高里町長 現在のところ県は計画がないとのこと。次期地中化路線の選定も平成十五年度において既に県の方で決定されているので、本路線については採択は厳しいとのこと。
高木を植え、緑豊かな県道にしてはということはない。たいへん素晴らしいことだと思つので、県へ要請していきたい。

町道儀間一号线の整備計画は？ 整備必要！平成一九年度に新規計画を予定



幸地良雄議員

幸地議員 町道儀間一号线は、比屋定校区、仲里校区、久米島校区間の縦断道路として交通量の多い路線であり、また、クリーンセンター、斎場、リサイクルセンター等への進入道路として利用率の高い路線である。

ところが、交通量の多い割に道路幅員が狭く、カーブもきつい。特にリサイクルセンター交差点から上阿嘉までの間がきびしく、路面の損傷もひどく大変危険な状態である。この道路を整備する計画はないか、伺いたい。

高里町長 儀間一号线については交通量も多く幅員も



儀間一号线

狭いため、北から南への町の縦断道路としてその整備は必要と考えている。

以前に調査測量、概略設計を行っているが、事業費の町負担分が捻出できず今日に至っている。今後、財政的に大変厳しいものがあるので、財政状況を勘案して調整したいと思う。

幸地議員 では、何年度に計画する考えか。

山城企画財政課長 一七年から二一年までの中期計画の中では、平成一九年度に新規で計画することになっている。

何とかして！危険な歩道

財源厳しい中、可能な限り整備したい



仲原 健 議員

仲原議員 字比嘉の仲里給油所前からリゾートホテル久米アイランド前に通ずる町道比嘉二号線の歩道が荒れて歩けない状態である。

サトウキビが覆い被さっているだけではなく、路面のアスファルトが破損しデコボコになったり、雑草や雑木も繁茂している。また、ガードパイプも錆びて腐れ落ちて危険である。特に夜や雨降りなど車道を歩いているのを見かけるが、とても危険である。安心して歩行できるように整備する必要があると思うが、町長の見解を伺いたい。

高里町長 サトウキビが覆い被さっているのは耕作者と話し合い解決したい。

である。ガードパイプについても新設は厳しいが、県があちこちでガードパイプの補修をしているので、その中古材を譲ってもらい補修することは可能だと思われる。



比嘉 2 号線の歩道

特産品の開発を

可能な限り支援したい

仲原議員 平成一七年二月二日から三日間、第一七回離島フェアが開催され、今回は一八の離島市町村が参加していた。

参加のたびに感ずることは、久米島の特産品が他の離島市町村に比べて少ない。特に水産物や農産物関連の商品が少ないように感じる。漁協や農協と協力し合い、その開発に努めたらどうか。

高里町長 確かに他離島市町村に比べて、久米島町の農水産物の出品が少ないように感じた。例年出品していた業者が事情により今回は出品できなかったことも影響していると思うが、今後は関係団体とも協力しながら可能な限り支援していきたい。

在日米軍再編計画に伴う辺野古沿岸移設案に反対する意見書

私たちの住む沖縄は、在日米軍用施設面積の75%が集中し、沖縄本島の約20%が米軍基地となっている。その米軍基地があるがゆえに県民は日常的に米軍機の墜落の危険性や爆音にさらされ、これまでも度々発生する米軍軍人、軍属などによる事件・事故の被害を受け続けている。

私たち県民は、米軍基地の整理縮小や撤去など、基地のない平和な沖縄を願い続けてきた。今回の日米合意で示された辺野古沿岸案は、基地の固定化につながるものであり、地元紙の世論調査でも「沿岸案反対」は72%となり、その中の解決方法も、「国外移設」が84%を占めているように、沖縄県民として到底容認できるものではない。

また、今回の日米合意は、政府と沖縄県及び関係地方公共団体で協議された事実ではなく、地元の頭越しに行われたものと断じざるを得ず、政府の地元軽視の姿勢には憤りを禁じ得ない。いわんやこの辺野古沿岸移設のために県知事や首長の「公有水面埋め立ての権限」なども「特別措置法」などで奪おうということが取りざたされていることは言語道断であり、断じて許されるものではない。

よって、本町議会は、県民の生命、財産を守り、平和な沖縄を築く立場から下記の事項について強く要請する。

記

1. 在日米軍再編計画に伴う辺野古沿岸移設をやめること。
2. 普天間基地の閉鎖、早期返還を実現すること。
3. 「公有水面埋め立ての権限」など、知事や首長から奪う「特別措置法」などは絶対に行わないこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

宛先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 外務大臣
沖縄及び北方対策担当大臣 防衛庁長官 防衛施設庁長官 那覇防衛施設局長

議会傍聴のお知らせ

次回の定例議会は、3月9日から予定しています。

多数の皆様の傍聴をお待ちしております。

併せて、町政へ訴えたいこと、疑問に思うこと等々、ご意見、ご感想等もお寄せください。